

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月27日

計画の名称	地域の生命線の安全で安心な交通確保と強靱化を図る道路整備計画（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	長野県													
計画の目標	災害により全面通行止となっている地域の生命線について、防災・減災対策等強化事業推進費を活用して緊急的にバイパス整備を行うことで、再度災害を防止し、安全で安心な通行の確保の早期実現を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,700	A	2,700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2		R4
1	災害による通行不能箇所の解消			
	通行不能箇所の解消	0箇所	箇所	1箇所
	道路整備により解消される通行不能箇所の数			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	長野県	直接	長野県	国道	改築	(国)418号 神原	バイパス整備 L=0.8km	天龍村	■	■	■			2,700		-
		15-A1																	
											小計						2,700		
											合計						2,700		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 「長野県建設部社会資本総合整備計画評価実施要領」に基づき実施する。	事後評価の実施時期 整備計画の交付期間の最終年度に予定しているすべての要素事業が完了した後、速やかに実施する。（翌年度へ繰り越す要素事業がある場合は、当該事業が完了した後、実施する。）
	公表の方法 長野県公式ホームページにおいて公表する。

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	防災・減災対策等強化事業推進費を活用することで、１年前倒しの令和３年度にトンネルが貫通し、通行不能箇所を解消することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	1箇所	
	最 終 実績値	1箇所	

地域の生命線の安全で安心な交通確保と強靱化を図る道路整備計画(防災・安全)

(事業区分: 災害防除)

整備効果事例

国道418号 天龍村 神原



令和2年1月 大規模崩落が発生し国道が寸断
⇒ 天龍村中組・戸口地区など村民の生活に影響

- ・ 発生源対策には、膨大な費用と長期間を有する
- ・ 現道部は落石・崩落多発区間（7回/10年の通行止）

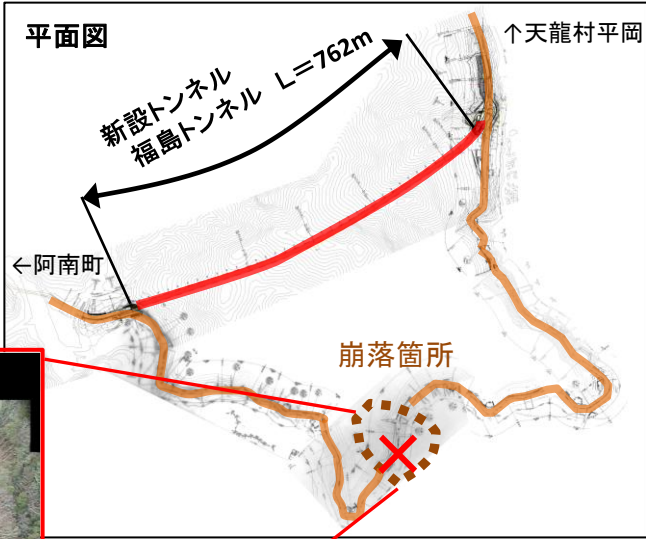


経済的かつ短期間で効果を発現するため、危険箇所を迂回する**トンネルの新設**を計画

短期間で事業効果を発現させるため、防災・減災対策等強化事業推進費を活用

<事業経過>

- 令和2年1月14日 大規模崩落発生
- 6月30日 推進費内定
- 12月11日 トンネル工事を契約
- 令和4年2月17日 貫通式
- 令和5年4月28日 開通式



[着工前]



[貫通]



トンネル貫通後は緊急車両の通行体制を構築

[完成]



[開通式]

